

ツキノワグマと共に暮らす

— 栃木と秋田の現場から —

豊かな森に恵まれた日本には、大型哺乳類のクマが生息しています。本州以南に生息するツキノワグマは、本来は森の奥深くに暮らしていますが、様々な事情によって人里に現れることがあります。昨年、秋田では、4人が死亡し2人が重傷を負う、ツキノワグマによるもので知られている中では、かつてない重大な人身被害が発生しました。このいまわしい事件以来、人里へのクマの出没が数多く報道されるなど、人々のクマに対する感じ方も変化しつつあるようです。そこで、今回のJWMS鳥獣管理フォーラムでは、秋田では一体、何が起きたのか、またその背景には何があったのか、現場から報告いただくことにしました。さらに、栃木をフィールドにした最新のツキノワグマの生態研究報告を踏まえ、「ツキノワグマと共に暮らす」ために必要な保全管理のあり方について、ディスカッションしたいと思います。

平成29年5月28日(日) 13:30から 16:30まで

※ 開場 13:00

宇都宮大学 峰キャンパス 5B21 教室 **事前申込み不要・無料**

※ 資料代別途 500円

〒321-8505 宇都宮市峰町 350

※ JR 宇都宮駅西口よりバス 20分位

※ 駐車場は正門入口で手続の上ご利用下さい

主催 一般社団法人 鳥獣管理技術協会 共催 宇都宮大学地域連携教育研究センター
後援 環境省

内容 開会挨拶 (杉田昭栄 JWMS 会長・宇都宮大学教授)
鳥獣管理士資格制度と CPD について (高橋俊守 JWMS 事務局長・宇都宮大学教授)
趣旨説明 (三浦慎悟 JWMS 理事・早稲田大学教授)
基調講演 1 「秋田のクマとヒトの現状」
小松武志 (北秋田市くまくま園 園長 獣医師)
基調講演 2 「栃木のツキノワグマの生態 足尾・日光地域の調査から見てきたこと」
小池伸介 (東京農工大学大学院農学研究院 准教授)
パネル討論 「ツキノワグマと共に暮らす」
総括コーディネーター 三浦慎悟 (早稲田大学教授)
閉会挨拶 (小金澤正昭 JWMS 副会長・宇都宮大学 特任教授)

対象 一般、行政機関等担当者、鳥獣管理技術者、大学生、高校生ほか

